

# タケシール#3500トップ

危険物第四類 第一石油類 危険等級Ⅱ 火気厳禁

タケシール#3500トップは、防水層の性能を長期にわたり保護、維持することを目的として開発された保護化粧材です。2液硬化反応により、緻密で強靱な塗膜を形成し、優れた耐汚染性、耐摩耗性、耐候性を有します。

- ◆特徴
1. 耐候性 従来の溶剤型上塗り材に比べ耐候性・光沢性に優れています。
  2. 作業性 ローラー、刷毛での作業性に優れています。
  3. 性能 緻密で強靱な塗膜を形成し耐汚染性、耐摩耗性に優れています。

◆用途 屋上・ベランダ等の塗膜防水層への長期的な保護美装

- ◆荷姿
- 14kgセット（A液 7kg：B液 7kg）
  - 3kgセット（A液 1.5kg：B液 1.5kg）
  - 0.6kgセット（A液 0.3kg：B液 0.3kg）
- ※0.6kgセットは、グレイ色のみとなります。

◆配合比 A液：B液＝ 1：1

◆標準塗布量 0.15～0.2kg/m<sup>2</sup>

◆標準色



グレイ  
(日塗工 75-60B 近似色)



グリーン  
(日塗工 42-30H 近似色)



グレイ防滑仕上げ  
(特殊骨材G 重量比5%以内添加)

- ◆使用方法
1. 使用する前に、B液の内容物が均一な状態となるよう十分に攪拌してください。
  2. A液、B液の必要量をハカリを用いて重量比1：1の割合で混合、機械攪拌機を使用して攪拌し塗布液を作製して下さい。
  3. 作製した塗布液をローラー、刷毛等にて0.15～0.2kg/m<sup>2</sup>を均一に塗布します。防滑仕上げとする場合は、混合攪拌した塗布液に特殊骨材Gを5%以内（重量比）にて添加、更に十分な攪拌の上、均一に塗布してください。

※やむをえず希釈する場合は、タケシールNo. 100シンナーを添加（添加量：重量比で2%以内）

◆可使時間

気温	10℃	20℃
可使時間	60分	40分
軽歩行可能時間	12時間以上	8時間以上

※記載可使時間は、目安となります。施工時の天候にて変化します。

※塗り重ねにつきましては、12時間以上後（気温20℃）歩行可能を確認の上となります。

※施工後、重量物を置く場合やテープ養生を行う場合は、72時間以上（気温20℃）の養生が必要となります。

## 保護化粧工法改修施工例

### 【既存下地・・・ウレタン防水材の場合】

工程	適合プライマー	塗布量	塗装間隔 (気温20℃の場合)	備考
プライマー	タケシールN o 4 0 0 プライマー	0.1 k g / m <sup>2</sup>	3～4時間以上、12時間以内に次の工程へ	ローラー、刷毛等にて塗布します。
上塗り	タケシール# 3 5 0 0 トップ	0.15～0.2 k g / m <sup>2</sup>		ローラー、刷毛等にて塗布します。

### 【既存下地・・・塩ビシート防水材の場合】

工程	適合プライマー	塗布量	塗装間隔 (気温20℃の場合)	備考
プライマー	タケシール塩ビシート用プライマー	0.1 k g / m <sup>2</sup>	3～5時間以上、12時間以内に次の工程へ	ローラー、刷毛等にて塗布します。
上塗り	タケシール# 3 5 0 0 トップ	0.15～0.2 k g / m <sup>2</sup>		ローラー、刷毛等にて塗布します。

◆防滑仕上げとする場合は、タケシール# 3 5 0 0 トップに特殊骨材Gを重量比で5%以内添加、十分な攪拌後、塗布してください。

## 性能表

項目	結果	備考
鉛筆硬度	F	自社試験手書き法
乾燥時間 (h)	指触乾燥	1以内
	硬化乾燥	8以上
伸び率 (%)	複層塗膜	100
耐酸性	異常なし	5%硫酸に1週間浸漬 ウレタン防水材複層シート
耐アルカリ性	異常なし	5%炭酸ナトリウムに1週間浸漬 ウレタン防水材複層シート
可使時間 (h)	1以内	試験条件: 気温20℃
促進耐候性 (2000hr)	光沢保持率 (%)	97
60度鏡面光沢度	81.7	J I S K 5 6 0 0 - 4 - 7

## 性状

項目	A液	B液	備考
外観	透明液体	着色状液体	
混合比 (重量w/w)	1	1	
加熱残分 (%)	6.8	5.9	
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.88	1.18	

### 【下記のような場合は塗布作業を避けてください。】

- ◆塗布後4時間以内に降雨・降雪の恐れがある時。
- ◆湿度が80%以上の時や場所。
- ◆強風などで塵やほこりが舞う恐れがある時。
- ◆気温が5℃以下の時、又は塗布後6時間以内に気温が5℃以下になる恐れがある時。
- ◆気温が35℃を超える炎天下の場合など、被塗物や気温が異常に高温の時。

### 【取扱上の注意事項】

- ◆使用前には、内容物が均一な状態となるよう攪拌してから使用してください。
- ◆取り扱い時、乾燥養生中は換気を良くし、必要に応じて換気・排気装置を設けてください。
- ◆開封後は速やかに使い切りください。
- ◆小分けして使用する場合は、必ずハカリを使用し規定量を混合、十分な攪拌後、使用してください。
- ◆可使時間を過ぎた塗布液は使用しないでください。
- ◆防滑仕上げとする場合は、特殊骨材Gを重量比で5%以内添加し、攪拌しながら塗布してください。
- ◆希釈はタケシールN o. 100シンナーにて重量比2%以内に行ってください。
- ◆同一床面では休まずに塗布して仕上げてください。色ムラ・段差が発生する場合があります。
- ◆一度に厚塗りすると発砲、塗膜の割れ、膨れ、捲れ等の不具合の原因になりますので、厚塗りで液溜まりができないように塗布してください。特に入り隅や不陸部分で発生し易いので注意してください。
- ◆保管は容器を密栓し、換気良く直射日光が当たらない冷暗所に施錠して保管してください。
- ◆内容物/容器/使用済みの用具を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処分してください。
- ◆用途以外目的では使用しないでください。

### 【安全上の注意事項】

- ◆取扱中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
有機ガス用防毒マスク・頭巾・保護眼鏡・長袖の作業服・保護手袋など
- ◆皮膚に付着した場合は、直ちに付着した衣服を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワー、洗剤で洗うこと。痛み又は外観に変化がある場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- ◆蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断/手当を受けてください。
- ◆眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を行い、直ちに医師の診断/手当を受けてください。
- ◆誤って飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断/手当を受けてください。無理に吐かせないでください。
- ◆暴露又は暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- ◆取扱い後は手洗い・うがいを十分に行ってください。
- ◆火気のあるところでは使用しないでください。万が一火災が発生した場合は、炭酸ガス、泡消火器、粉末消火器を使用してください。水は使用しないでください。
- ◆記載以外他、安全対策、応急措置、保管、輸送などにつきましては安全データシート (SDS) を参照してください。

※製品改良の為、仕様など予告なしに変更するがあります。ご了承ください。

品質保持期限：出荷後6か月

製造元

 竹林化学工業株式会社

〒577-0836 大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL 06-6721-6165・FAX 06-6720-7308

URL <https://www.takebayashi-ci.com/>

MAIL [info@takebayashi-ci.com](mailto:info@takebayashi-ci.com)

お問い合わせ